

香川県行財政改革基本指針-2021-

-社会情勢の変化に、「柔軟」かつ「迅速」に対応できる県庁づくり-

(骨子案)

令和〇年〇月

香川県

I 指針の全体像

行財政改革の目的

効果的・効率的な行政組織、持続可能な財政運営を実現し、組織の力を最大限に発揮させ、質の高い県民サービスを提供する

これまでの行財政改革

量を中心とした改革

量の改革を維持・継続しつつ、質を中心とした改革

社会情勢の変化

危機発生時の対応

頻発する未曾有の
自然災害

過去に経験のない
ウイルス感染症

ICTの活用

AI・RPA
の実用化

デジタル化・
オンライン化

働き方改革

ワーク・ライフ
・バランス

テレワーク・
時差出勤

新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践

社会情勢の変化に、「柔軟」かつ「迅速」に対応できる県庁づくり

取組みの3本の柱

①効果的・効率的な
業務執行体制

②人材の確保・
育成・活用

③持続可能な
財政運営

II 計画期間と進行管理

(1) 計画期間

本指針の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

ただし、社会情勢や財政状況等に大きな変化がある場合は、必要に応じて随時見直しを行うこととします。

(2) 進行管理

本指針に基づき行財政改革を着実に進めるため、具体的な取組み内容を、毎年度「実施計画」として取りまとめ、進行管理を行います。

Ⅲ 具体的な取り組み内容

1 効果的・効率的な業務執行体制

1－1 効果的・効率的な組織体制の構築

- A 時代の変化に対応した組織の見直し
- B 適正な定員管理と人員配置
- C 危機発生時に対応し得る柔軟な組織と業務執行体制
- D 効果的な組織運営体制の構築

1－2 ICTの利活用によるサービス向上

- A 行政手続オンライン化の推進
- B データを活用した政策立案や業務執行
- C 効果的・効率的な情報発信の推進

1－3 他団体との連携・協働の推進

- A 市町との連携の推進
- B 多様な団体との連携・協働
- C 時代の変化を踏まえた外部委託等の活用

1－4 事務処理の効率化

- A 内部統制の推進
- B ICTを活用した事務の効率化の推進
- C 業務改善の取組み
- D マイナンバーの有効活用

2 人材の確保・育成・活用

2－1 多様な能力を持った人材の確保

- A 採用試験・採用活動の見直し
- B インターンシップの実施
- C 多様な人材の確保

2－2 職員の育成

- A 能力・実績主義の推進
- B 職員のキャリア開発の促進
- C 研修制度の充実
- D 職員の意識改革

2－3 職員の活用

- A 女性職員の活躍促進
- B 定年延長への適切な対応
- C ベテラン職員からの技術継承の促進
- D 社会貢献活動への支援

2－4 職員の働きやすい職場づくり

- A ワーク・ライフ・バランスの推進
- B 職員の安全衛生・健康管理
- C ハラスメントのない職場づくり

3 持続可能な財政運営

3－1 歳入の確保、歳出の最適化

3－2 ファシリティマネジメントの推進